



生物医療・民族・信頼

ナイジェリア・ラゴス州エグンによるマラリア治療の探求



日時：2015年7月17日（金）17：00～

場所：学而館2階 第3研究会室 入場無料・事前申し込み不要

今回の「目の前のアフリカ」では、アフリカ日本協議会で活躍される若い医療人類学者をお招きします。ナイジェリア最大の都市・ラゴスのマココ地区で水辺の暮らしをおくるエグンの人びとは、生物医療に依拠したマラリア対処を模索する際、同じエグンの医療者が運営する医療施設のみを利用し、他民族（マジョリティである Yoruba）によるものを特に緊急時であればあるほど利用せず、またエグン同士であっても、医療サービスの質や医療施設へのアクセスのし易さ、そこにかかる経済的コストは二の次に、親戚や友人、知人、同郷者との強いつながりを病いへの対処において重視している。一見すると生物医療が日常生活に浸透しているアフリカ都市貧困地区において、人びとが民族的境界に苛まれ、その中で親族や同郷者、友人、知人等とのより強いつながりのある人びと同士の関係のみを頼りにして病いに対処している状況を報告し、課題を探る。アフリカを目の前に近づけよう。

<プログラム>

17：00～17：10 趣旨説明・講師紹介：齋藤龍一郎（立命館大学・アフリカ日本協議会）

17：10～18：00 講演：玉井隆（立命館大学・アフリカ日本協議会）

18：00～18：30 質疑応答

共催：日本アフリカ学会関西支部

問い合わせ先：立命館大学生存学研究センター

電話：075-465-8475 FAX：075-465-8245 E-mail: ars-vive@st.ritsumei.ac.jp

駐車スペースがありませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

